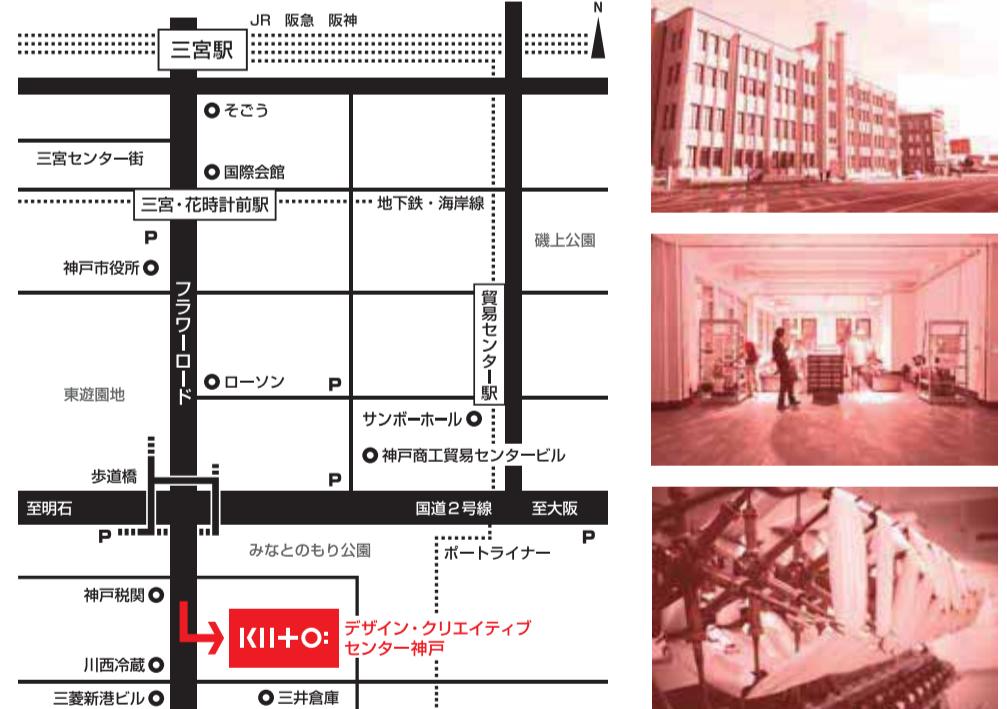


NATURAL DISASTERS IN ASIA THAT CAUSED SEVERE DAMAGE

2013年10月4日(金)–24日(木) 11:00–19:00 入場無料 ※休館 10月7日(月)、15日(火)、21日(月)
会場 デザイン・クリエイティビティセンター袖ヶ浦(KIITO)

ACCESS



三宮駅から

- 1 フラワーロードを南へ進む。
- 2 そごう、国際会館、神戸市役所、東遊園地を通過する。
- 3 東側のみなとのもり公園を通過し、税関本庁前交差点を南へ渡る。
→さしにJR2番、直進され、地下鉄三宮駅の東方に位置する。

CONTACT

デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)
〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL : 078-325-2235 FAX : 078-325-2230
開館時間：11:00-19:00 E-mail : info@kiito.jp

<http://kiite.in/>

文部省標準化会議会員登録システム（共催：特定非営利活動法人 プラス・アーツ）

後援：朝日新聞社、NHK 神戸放送局、MBS、関西テレビ放送、Kiss FM KOBE、神戸市教育委員会、神戸商工会議所、神戸新聞社、産経新聞社、サンテレビジョン、日本経済新聞大阪本社、毎日新聞神戸支局、読売新聞大阪本社、読売テレビ、ラジオ関西 ■ 協賛：AIGグループ ■ 協力：アジア防災センター、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、神戸市消防局、神戸芸術工科大学、神戸・三宮センター街、国際交流基金・ジャカルタ日本文化センター／バンコク日本文化センター／マニラ日本文化センター、特定非営利活動法人工エフエムわいわい、



JAPAN FOUNDATION



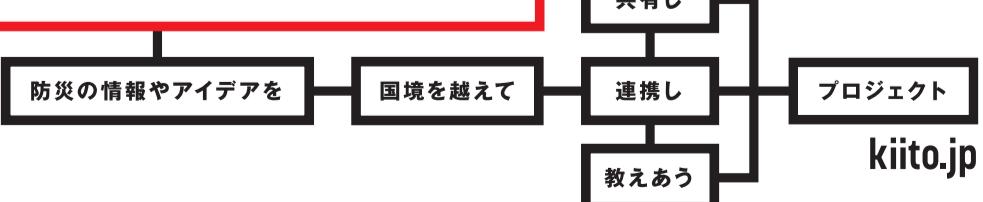
■ 中国
n Center ■ 助成・国際

United Nations
e
City of
KOB
Member of

UNESCO

EARTH MANUAL PROJECT展は、神戸市が
2008年10月16日にユネスコ創造都市ネットワークの
デザイン都市に認定されたことにちなんだ

EARTH MANUAL PROJECT



2013 10/4—10/24

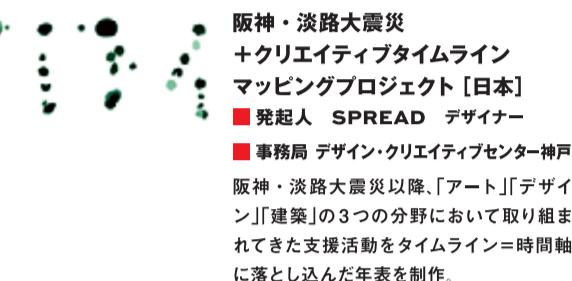
EARTH MANUAL PROJECT 展 2013 10/4—10/24

4 金	5 土	6 日 7月	8 火	9 水	10 木	11 金	12 土	13 日	14 月・祝	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日 月	21 火	22 水	23 木	24 木
展示	休館日	展示	休館日																
防災グッズセレクトショップ	「ゲームで社会課題に挑む」レクチャー	防災グッズセレクトショップ	防災ゲーム大会	防災グッズセレクトショップ	「コミュニケーション・アーキテクト イカブトラ」三夜連続レクチャー	防災グッズセレクトショップ	「イザ! カエルキャラバン!」in KIITO	防災グッズセレクトショップ	世界のTAKIDASHIキッチン	遊びながら学ぶ 地震ゲームを作るデザインワークショップ	「ゲームで社会課題に挑む」トークセッション	「コミュニケーション・アーキテクト イカブトラ」ワークショップ	「コミュニケーション・アーキテクト イカブトラ」	「イザ! カエルキャラバン!」in KIITO	世界のTAKIDASHIキッチン	「ゲームで社会課題に挑む」トークセッション	「コミュニケーション・アーキテクト イカブトラ」	「イザ! カエルキャラバン!」in KIITO	世界のTAKIDASHIキッチン
アートによる心のケア "heARTS" (ヒアーツ) 挑む手養成ワークショップ																			

展示 Exhibition

自然災害に対して、クリエイティブな視点で課題の解決や活動をしている事例を、国内外から一堂に集め、クリエイターのアイデアや姿勢・向き合い方を紹介していきます。実際にその活動から生まれたツールやプロダクトなども併せて展示します。

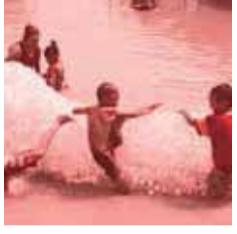
○ 災害発生前



阪神・淡路大震災

- +クリエイティブタイムライン
- マッピングプロジェクト [日本]
- 発起人 SPREAD デザイナー
- 事務局 デザイン・クリエイティブセンター・神戸

阪神・淡路大震災以降、「アート」「デザイン」「建築」の3つの分野において取り組まれてきた支援活動をタイムライン=時間軸に落とし込んだ年表を作成しました。



THAI THAI DAIJOBUTAI!

- 日用品を活用した洪水対策術 [タイ]
- ウィバーウィー・クナーウィチャヤーノン デザイナー

洪水の被害を受けたアユタヤ自身の回りの物で浮き輪を作るという2010年の「アユタヤプロジェクト」をきっかけに、ウィバーウィー氏が立ち上げたクリエイターのネットワーク「Design for Disasters」の活動を紹介します。



地震 ITSUMO プロジェクト [日本]

- 寄藤文平 アートディレクター
- NPO 法人プラス・アーツ

阪神・淡路大震災の被災者167人の声から得られた教訓や知恵・技をベースにした「地震ITSUMOノート」の出版や、東京ガス社員向け防災啓発事業「SAVE YOURSELF」、無印良品とコラボレーションした展覧会「地震 ITSUMO+無印良品」など、さまざまなパートナーと多様な方法で防災情報を発信しています。



Design for Flood [タイ]

- Thailand Creative & Design Center (TCDC : タイ・クリエイティブ・デザイン・センター)

2011年の洪水を受けてTCDCがデザインによる被災者支援を模索するために取り組んだプロジェクト。まずは現地のリサーチを行い、自然災害の課題を5つのテーマに整理し、さらにこの課題に対してデザインによる10の解決策を募るコンペを実施しました。今回は、入賞作品数点を展示します。

○ 災害発生後



Roo su Flood

- アニメーションを活用した洪水対策知識の啓発プロジェクト [タイ]

■ タッチチャイ・セーンタムチャイ クリンクライ・ワチラムポン ノッタポン・ブーンラコップ ワッタナ・ルジロサクン その他ボランティア約200名

2011年の洪水で甚大な被害が出たタイ。被災者が知るべき洪水の情報を正確に届けるため、ボランティアの有志が徹底的なリサーチのもと、アニメーションを製作しました。全10話分(英語字幕)を上映します。



Paper Partition System4 [日本]

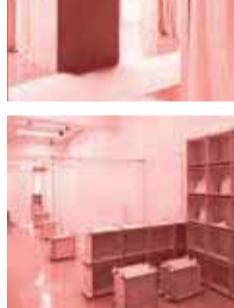
- 坂茂 建築家、京都造形芸術大学教授、ボランティア・アーキテクツ・ネットワーク (VAN) 代表

田舎村テンボラリー・ブース [日本]

- 古谷誠章 建築家、早稲田大学教授

FASTBOX [日本]

- 小富敏明 建築家、神戸芸術工科大学准教授、FASTBOX PROJECT代表



OLIVE PROJECT [日本]

- 太刀川英輔 デザイナー、NOSIGNER 代表

東日本大震災発生の40時間後に立ち上げた、非常時の生活の中で役立つアイデアやノウハウを集めたwiki「OLIVE」。検証されたアイデアであれば誰でも投稿する事ができ、1000以上のアイデアが集まりました。現在、4か国語に翻訳されています。



○ 復興期



手工芸による震災地域復興 [ジャカルタ]

- イカブトラ 建築家

歴史的建造物と銀細工職人の町として知られるインドネシアのKOTAGEDE(コタゲデ)は2006年のジャワ島中部地震で被災。伝統的な街並みの復元とともに、イカブトラ氏が取り組んだ銀細工産業の支援活動を、プロデュースした銀細工製品とともに紹介します。



A Book for Our Future,311 [日本]

- 中田千彦 建築家、宮城県大学准教授

東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県南三陸町長清水集落で、震災2ヵ月後に、研究室の学生とともに「未来の長清水」の姿をスケッチで描き、意見交換をするワークショップを実施。この時のスケッチをベースに、集落を再生していくためのアイデア・プランの提示や、番屋の再建など、住民に寄り添った復興支援活動を展開しています。



FLOATING WOMBS

- アートによる心のケア "heARTS" (ヒアーツ) [フィリピン]

■ アルマ・キント アーティスト 自然災害などによって心の傷を受けた人々へ、アートを通してヒーリングを行っているアルマ・キント氏。本展では、台風で大きな被害が発生したフィリピンのミンダナオ島カガヤン・デ・オロとルソン島ビコル地方での活動を紹介するとともに、来場者参加型の作品も展示します。



EAST LOOP [日本]

- 高津玉枝 株式会社福市代表取締役

被災地で誰でも参加できる手仕事を創り、その売上げを作り手たちに直接届けるプロジェクト。経済面での支援だけでなく、手を使った仕事の機会を提供することで、悲しみを癒し、心のケアにもつなげています。



イベント Event

イベント Event

アートによる心のケア "heARTS" (ヒアーツ) 挑む手養成ワークショップ

ワークショップ一日目は、アート制作を通して、虐待や自然災害を受けたトラウマに向かい、生きる力を引き出すアルマ氏の手法を学び、二日目は下記の「アートで親子コミュニケーションワークショップ」にて親子を対象に、その手法をアルマ氏と一緒に実践します。

▲ 一日目 / 10月5日(土) 13:00~19:30

▲ 二日目 / 10月6日(日) 14:00~16:00

対象: 高校生以上

会場: 3F 301 / 参加無料 要申込み(先着順)

アートで親子コミュニケーションワークショップ

作家と一緒に、カラフルな布や紙を使って、「わたしの得意なこと、好きなことを表現して、親子でお互いのことをもっと知り合う機会」とませんか。完成した作品は会場に展示します。

▲ 10月6日(日) 14:00~16:00

講師: アルマ・キント 対象: 親子でご参加ください。

会場: 3F 301 / 参加無料 要申込み(多数の場合抽選)

※申込み締切は9月26日(木) 19:00

世界のTAKIDASHIキッチン

被災した方々の声をもとに、神戸の料理人が考案した日本をはじめ、世界各国の炊き出しメニューを販売します。災害時の対応・備えをおいしく、楽しく学べるプログラムです。

▲ 10月5日(土)・6日(日) 11:00~15:00

会場: 屋外スペース 1品100円~

遊びながら学ぶ 地震ゲームを作るデザインワークショップ

タイを代表するゲームデザイナー・ラティゴーン氏と、地震をテーマにしたゲームを、10月8日～13日の期間で作ります。完成したゲームは14日のゲーム大会で実施します。

▲ 10月8日(火)～11日(金) 19:00~22:00

▲ 10月12日(土)・13日(日) 10:00~19:00

講師: ラティゴーン・ウッティゴーン

ゲスト: 吉川肇子(慶應義塾大学商学部教授)

会場: 3F 301 / 参加無料 要申込み(多数の場合抽選)

※申込み締切は9月23日(月・祝) 19:00

申込みが必要な催事に関しては、9月8日(日) 11:00からweb(<http://kiiito.jp>)の申込みフォームより受け付を開始します。

レクチャー Lecture

いずれも会場は3F 303 / 定員: 50名 参加無料・要申込み(先着順)

ゲームで社会課題に挑む

-Save The World With GAME-

これまでに「環境汚染」「サステナブル社会」「デモクラシー」などをテーマに、ゲームを作成してきたラティゴーン氏。クリエイティブビデオを駆使してどのように社会問題を解決していくべきか、語っていただきます。

▲ 10月12日(土)・13日(日) 13:00~16:00

出演者: ラティゴーン・ウッティゴーン

レッツ! サバイバル ワークショップ

身の回りの物を使って生活環境を変えていくアイデアや技、また避難所での生活空間の確保の仕方などを、実際に作ったり、組み立てたりしながら学んでいきます。

▲ 10月12日(土)・13日(日) 19:00~21:00

出演者: ラティゴーン・ウッティゴーン

レッツ! サバイバル

「アイデアと工夫」というデザインで、生きる世界

タイと日本のクリエイターが挑んだ、災害時に身の回りの物を使ったアイデアのオープンソースのプロジェクト。大災害発生時、被災者が生き延びるために、クリエイターに何ができるのかを探ります。